

図書紹介(2)

大隅典子、大島まり、山本佳世子 共著

『理系女性の人生設計ガイド』

—自分を生かす仕事と生き方—

(講談社ブルーバックス 2021年5月20日発行 1000円)

東京農工大学名誉教授 亀山秀雄

はじめに

3名の共著である。そのうちの一人の大島まり氏は、P2M マガジン 11号に「STEAM 教育を通して培うプロジェクトマネジメント能力の育成」を特別寄稿して頂いている。そこでは、STEAM 教育の内容と必要性について解説されている。今回の 13号のコラムで吉田邦夫先生が「AI 時代に求められる人材-STEM からSTEAM、そしてデザイン思考へ」と題した記事を寄せておられる。その中で「リケジョ」に触れておられ、理工系の女性の割合が他専門分野に比べて最も低いことはSTEAM 教育の上で重要な課題であることを述べておられる。両方を読み合わせると人材育成の本質的な課題が見えてくると思う。もう一人の山本佳世子氏は、日刊工業新聞社の記者でありながら、社会人として私の研究室で博士(学術)を取得した方である。今回の 13号にコラム記事「「スペシャリストで少数派」の落とし穴 ～新たな多様性時代へ」を寄稿頂いている。この図書紹介と連動した内容になっている。是非、3つの記事とこれから紹介する本書をお読みいただくと、「リケジョ」に対する新たな可能性と期待を感じていただけたらと思う。

著者紹介

山本佳世子：日刊工業新聞社論説委員、編集局科学技術部編集委員、博士(学術)

大島まり：東京大学大学院情報学環・生産技術研究所教授。博士(工学)

大隅典子：東北大学副学長、東北大学大学院医学系研究科教授、歯学博士

本書の構成と概要

本書は、3部構成になっている。第一部は、「先輩理系女性たちが歩んできた道」と題して、山本佳世子氏が新聞記者として共著者取材した内容と自らの歩みをまとめた構成になっている。医学、機械工学、化学工学の異なる理工系の分野で現在の仕

事をするに至った経緯を紹介しており、理工系を目指す女性や現在の理工系の職場で奮闘されている女性に勇気とやる気を与える部分である。第二部は、山本氏が取材で得た情報を「大学で。企業で。理系女性の様々な活躍の場」と題してそれぞれ職場環境での女性を取り巻く環境を新聞記者ならではの最新の情報をまとめて提供している。統計データに現れていない環境の変化がわかるので、これから理工系進学を考える女子学生や管理職の職に就かれる方にとっては、有益な情報を与えている。第三部は、共著者である大島氏と大隅氏の対談を「二人に教授が現在・未来の理系女性を語る」と題して、山本氏がまとめたものである。対談のテーマは、「本当に好きなものを探しながら柔軟な生き方を」であり、まさに女子学生や職場で頑張っている女性職員へのエールに満ちた内容となっている。

目次構成

第一部

第一章 研究へと導いてくれた、多様なロールモデル(大隅典子)

第二章 悩みながらたどり着いた「これだ!」という研究(大島まり)

第三章 ベースの理系を生かしながら、仕事の幅を広げて(山本佳世子)

第二部

第四章 理系女性のマインドとそれを取り巻く環境

第五章 理系の第一歩、大学選び

第六章 理系の研究と学び方

第七章 理系の研究職、仕事とプライベートはどうなる?

第八章 企業や大学トップの理系女性と、これからのリケジョ

第三部

第九章 対談「本当に好きなものを探しながら柔軟な生き方を」

(2021年9月27日 受理)